

表題 震災文庫デジタルアーカイブで地元テレビ局制作の阪神・淡路大震災映像を公開

<取組内容>

神戸大学附属図書館は、阪神・淡路大震災の被災地の中にある図書館の責務として、関連資料を収集した「震災文庫」を平成7年10月30日より公開し、その収集・提供を継続してきた。また、デジタルアーカイブでの公開にも、当初より注力している。

震災の発生から26年を迎えるにあたり、震災文庫デジタルアーカイブにて、地元ローカルテレビ局である株式会社サンテレビジョン撮影・制作の映像「阪神・淡路大震災」(1995年6月29日制作 19分06秒)を、令和3年1月14日に公開した。

<取組の特色・期待できる成果>

本取組は、サンテレビジョンより本学に対し、震災当時の映像の保存公開について相談があり、これをきっかけとした両者の連携の一環である。その端緒として、同社が大都市を襲った直下型地震の猛威と被害を教訓として広く防災意識の高揚を図るため制作した本映像の公開を、サンテレビジョンと、本学人文学研究科地域連携センターの三者で協力して実施した。

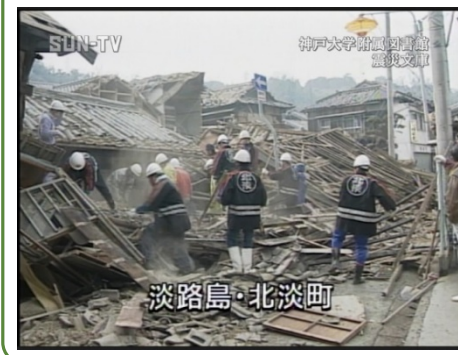
公開において特に重要となる、被写体の権利関係の映像確認については、デジタルアーカイブ学会が検討を進めている「肖像権ガイドライン案(第3版)」を参考に、人文学研究科地域連携センター教員の協力で実施し、サンテレビジョンと協議のうえ公開の判断を行った。

映像の公開により、防災教育に関する教材の提供に寄与できると考える。今後も、被災当時の貴重な取材映像の、デジタルアーカイブでの公開、もしくは館内閲覧での提供を、順次進めていく予定であり、災害史や防災科学関連の史料保存・提供における意義も大きい。

【三者で打合せ】



【映像の画面】



<参考URL>

- ・震災文庫HP: <http://www.lib.kobe-u.ac.jp/eqb/>
- ・震災映像公開HP: <https://lib.kobe-u.ac.jp/libraries/18684/>
- ・デジタルアーカイブ学会 肖像権ガイドライン案HP: <http://digitalarchivejapan.org/bukai/legal/shozoken-guideline>